支え（弁護士月岡朗）

弁護士月岡朗

この写真は、私が弁護士を目指して勉強をしていた頃の写真です。

左側の浴衣を着ているのが私です。目はうつろ、髪はボサボサで、いかにも受験生です。
右側の大仏の仮面をかぶった方は、今は埼玉の弁護士の方です。受験勉強中にこの写真の飲み会で１度会っただけなのですが、数年後偶然再会した時に覚えていてくれて、この方のアドバイスがあって私は当事務所で働くことになりました。

ですので、僕の恩人です。こういう縁がなかったら、今頃どこで何をしていたのかな、と感謝しています。恩人をこんな写真で紹介すると感謝していないように思われそうですが。

写真を撮った頃は早く司法試験に合格して弁護士になりたいと思っていましたが、今は弁護士になる前に司法試験に落ちていて良かったと思うこともあります。

当時は、お金もなければ仕事もないのに司法試験にも落ちてしまって、将来の生活を考えて司法試験を辞めようか、就職しようかと考えていました。

支えてくれた人がいたから弁護士になれたのは間違いありません。
不安もありましたが、その分、家族や友人などの支えが身に染みました。そう思うと支えてくれる人に恩返ししないといけないなと思います。試験に落ちたことで得たものは少なくありません。

ふと考えてみると、今でもいろいろな方に支えられています。当事務所を懇意にして下さる顧問先の方々には、いつも助けられています。依頼者の方々から、「ありがとうございます」と仰っていただくと、また仕事を頑張ろうとやる気をいただいております。事件の解決のためには他の弁護士や事務員の協力は不可欠です。

恩返しの意味も含めて、もっと支えになれるように頑張ろうと思います。